

あなたのためのよきおとずれ

イエスの招き

The Invitation of Jesus

Vol.463
September
October
2022

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。
わたしがあなたがたを休ませてあげます。」イエス・キリスト



■ 聖書メッセージ

牧師 小川 宗五郎

「生きること、死ぬこと」

「私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。」

ピリピ人への手紙1章21節

ここで使徒パウロは、自分にとっての生と死の意味を明確に説明しています。この世の一般の人々で、自分の生と死の意味を納得がいくように説明



できる人は、どれほどおられるでしょうか。勿論、私はキリストに出会うまでは、生と死の意味が分かりませんでした。しかし教会に導かれ、キリストに出会って、その問題に答えが与えられたのです。キリストを個人的に知っておられる方なら、みなそうであると思います。キリスト者にとって、生きるとは何でしょうか。死ぬとは何でしょうか。

生きることはキリストである……………

パウロは「私にとって生きることはキリスト」と言っています。簡単すぎて分かりにくい表現ですが、その意味するところは、私にとって、キリストは人生そのもので、もしキリストがなければ生きる意味がない、ということではないでしょうか。

プロ野球の野村克也氏が、かつて「私にとっては野球がすべてです。」と言っておられました。野村氏にとっては野球が生きがいであるということではないでしょうか。この世の中には、いろいろなものを生きがいにしておられる人がおられます。ある人は、お金をためることを生きがいにしておられると思いますが、そういう人は、お金がなくなると生きる意味もなくなるのではないかでしょうか。しかしそれに加えて、私たちにとっては、キリストが人生そのものであり、生きがいであると言えるのです。なぜでしょうか。

それはまず、キリストは私たちのために死んで下さったからです。私たちは、神に背いている者として、罪の刑罰を受けるべき存在でした。しかし、キリストが私たちの身代わりに死んで、罪をあがなって下さったのです。

聖歌に「キリストにはかえられません」という有名な歌がありますが、その歌はその理由として、「このお方が私に代わって死んだゆえです」と言っています。キリストは、私たちの新しい人生の始まりなのです。

またキリストは、いつまでも私たちとともにいてくださるからです。キリストは「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」と言われました。私たちはよく、不安や孤独を感じる時がありますが、そんな時もひとりではなく、天地の主であるキリストがともにいて守ってくださっています。従って決して悪いことは起こらないのです。もし起きたように思えても、それは主の御手の中で起こっています。キリストは私たちの力強い人生の原動力なのです。

またキリストが私たちの生きがいであるのは、キリストのために生きれば、無駄にならないからです。聖書はこう言っています。

「ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。」

コリント人への手紙第一15章58節

キリストは私たちのために死んでくださっただけでなく、私たちのために復活して、今も生きてくださっています。私たちのキリストのための奉仕は小さいかも知れませんし、人に知られないかも知れません。しかしそれは決して無駄にならないのです。キリストは私たちの人生の望みであり、報酬

なのです。人は、この世の物をどれほど得ても、救われないで死んで滅びるとすれば、人生のすべての労苦は水のあわではないでしょうか。

多くの人は、この道を喜んだり、転んだりしながら生きているのではないでしょうか。あなたは何のために生きておられるでしょうか。

死ぬことは益である

またパウロは「死ぬことは益です」と言っています。益とは私益になることです。一般的に死は、あってはならないことではないでしょうか。特に日本は昔からその考えが強く、4という数字さえ避けてきました。しかし現在でも、今は生きているのがたのしい、という方にとっては、死は大きなマイナスではないでしょうか。それは、死の問題が解決されていないからではないでしょうか。

関西学院大学で、死生学を教えておられる藤井美和先生は、毎年講義の最初の日に、学生たちに、「死とは○○である」と書かれた小さな用紙を配り、○○に自分の答えを書いてもらうそうです。先生によると多い答えは「すべての終わり」「消滅」「怖いもの」「未知のもの」だそうです。では聖書は何と教えているでしょうか。それは、死とは分離することで、たましいが肉体から離れることです。聖書の教える死に、終わりとか、消滅の概念はありません。

ではなぜキリスト者にとって、「死ぬことは益」なのでしょうか。

聖書は「主の聖徒たちの死は主の目に尊い」(詩篇116篇15節)、「今から後、主にあって死ぬ死者は幸いである」(ヨハネの黙示録14章13節)と言っています。

それは死の瞬間に天国に行くからです。キリスト者はキリストによって罪が赦され、永遠のいのちが与えられていますから、地上の生涯が終わると天に召されるのです。

マルチン・ルターはこう言いました。「われわれは、生のただ中にあって、死にとりかこまれている。しかしそれわれは、死のただ中にあって、生にとりかこまれている。死は人生の終わりではない。死は人生の完成である。」ゆえに「死ぬことは益」なのです。

私は、キリストに出会うまでは、生きるとは何か、死ぬとは何か分からぬまま、満たされない、希望のない人生を送っていました。しかしキリストに出会い、人生が変えられました。 生きる喜び、希望が与えられたのです。あなたの人生はいかがでしょうか。

「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことなく、死からいのちに移っています。」

ヨハネの福音書5章24節

私たちの教会では、皆様のお越しをお待ちしております。 どうぞお気軽にお越しください。



■定例集会

[※私たちの教会は、聖書を正しく学ぶキリスト教会です。]

- 【日曜日】 ●早朝礼拝 AM8:30～ ●日曜学校 AM10:00～ ●礼 拝 AM10:50～
【水曜日】 ●水曜集会 PM7:00～ ※キッズチャーチは日曜日AM10:50～の礼拝時に行われています。
●どの集会も無料です。聖書・聖歌は備え付けてあります。●英語・韓国語・手話の同時通訳があります。
※現在、感染対策(換気・座席間隔)をして、午前中二回の礼拝と日曜学校が行われています。
※礼拝堂やトイレなど教会施設全館に抗ウイルス抗菌コーティングを施工しています。
どうぞ安心してお気軽にお越しください。

■送迎車のご案内

●下記の各のりばから送迎車が運行いたします。どうぞご利用下さい。

千里中央 ●AM8:10
●AM9:15

北千里 ●AM8:10
●AM9:35

●帰りは、礼拝後各駅へ出発します。



千里ニュータウンバプテスト教会

〒562-0033 箕面市今宮 3-11-32 FAX.072.726.0276
E-mail/office@senrinewtown.com

www.senrinewtown.com

TEL.072.726.0726(代)